

北海道若手福祉従事者キックオフイベント

現在、福祉の現場は従事してから3年未満の者の離職率が高く、次世代の福祉を担う若手福祉従事者の確保が課題となっています。しかしこの状況に反して、福祉・介護系大学等への進学者数は減少傾向にあり、このことは福祉現場においても人材不足をまねく大きな要因となっています。こうした状況に対応するべく、大学と福祉施設等が積極的に連携を図り、若手福祉従事者が誇りとやりがいを持って仕事に取り組むことのできる支援体制の構築を目指し、福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業を実施しています。

この度、本事業のさらなる発展と今後の展望にご理解とご協力を賜るべく、キックオフイベントを開催いたします。すでに本事業へご協力いただいている方はもちろんのこと、新たに参加していただける方にとっても福祉の力やさまざまな問題に共感していただけるイベントになるのではないかと考えております

高校生・大学生・若手福祉従事者の皆様は勿論のこと、多くの関係者の皆様のご参加を心よりお待ちしております。イベント終了後は、講師の皆様、参加者の皆様との交流会も企画しております。

日時 平成23年5月14日 土曜日

場所 北海道自治労会館（札幌市北区北6条西7丁目）
4階ホール

参加費 無料

定員 200名



© 講談社/ヘルプマン!

PROGRAM プログラム

基調講演

「漫画ヘルプマン!と現場実践から見る、介護の楽しさとは・・・」

13:00-14:30

漫画という形で福祉を問い続けるくさかさんと、福祉・介護事業の現状とさまざまな課題が直面する中で、前向きに理想的な介護をするためにはどうしたらいいのか?これからの若手従事者に期待することは?誇りと自信をもって仕事をする糸口になるような多くのメッセージを届けてもらいます。

くさか 里樹氏（漫画「ヘルプマン!」作者）

実践報告

「若手福祉従事者実践報告会」

14:45-16:15

若手福祉従事者がそれぞれの仕事・悩みを報告します。同じような世代または職種で活躍している方の実践報告は、刺激にもなりますし励みにもなります。また昨年末に全道で実施した【若手福祉従事者の「業務」意識に関するアンケート調査】でも、「ほかの職場の状況が分かる実践報告」の開催を望む声が圧倒的に多く寄せられました。実は自分と同じよう悩みをかかえている人たちがいるかもしれません。ここで新たな自分の仲間を見つけてみませんか?職場を越えたつながりやネットワークは、ステップアップの1つになること間違いなしです。またコメンテーターとして、引き続き、くさか里樹さんにも参加していただく予定です!

■高齢者ケアの視点から : 石川 哲也(有限会社グッドライフグループホームアウル登別館)

■障がいケアの視点から : 横田 雅之(社会福祉法人栗山ゆりの会ハローENJOY 岩見沢)

■相談支援の視点から : 川岸 正和(社会福祉法人北海道友愛福祉会静苑ホーム)

コメンテーター : くさか 里樹氏

進行 : 藤本 一貴(社会福祉法人当麻かたるべの森共生舎)

まとめ

「イベント総括及び福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業説明」

16:15-16:45

介護の楽しさ・実践から見る福祉の仕事の希望と悩み...いろいろな角度から見た福祉のカタチでしたが、今回のフォーラムを総括して、みなさんと一緒に明日からのヤル気と今後の展望を共有していきたいと思います。また、若手福祉従事者のサポートネットワークシステムの確立と人材の定着等を目的とした、「福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業(北海道委託事業)」について改めて説明致します。

申し込み方法

- 別添の申し込み記入用紙に必要事項を記入し、FAX またはメールにて事務局までお送りください。〆切は平成23年5月6日(金)まで。
- 交流会の詳細につきましては、追ってご連絡させていただきます。
- 昼食はご用意いたしません。会館内にレストランが併設されています。
- 会館内はバリアフリー対応になっております。障がい者用のお手洗いは地下1階にあります。
- 喫煙は決められたスペースでお願いいたします。

お問い合わせ先

【主催】福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業

【共催】北海道地域福祉推進若手従事者ネットワーク

【事務局】(問い合わせ先)

石狩郡当別町金沢1757 北海道医療大学地域連携教育推進室

TEL・FAX 0133-23-1263

E-mail snw@hoku-iryo-u.ac.jp 担当: 山下 あゆみ